



安全・安心で おいしい給食をいつまでも

子どもたちの健やかな成長を守る「学校給食」。
当市では全ての小・中学校で給食を提供していますが、施設の老朽化などの課題がたくさんあります。
安全・安心な給食を届け続けるために、早急な施設の整備が必要となっています。

撮影協力：大町小学校（2年生）

献立作成や食の指導など子どもの成長のために学校現場で働く茨木さんに話を伺いました



大町小学校栄養教諭
茨木 仁美さん

子どもたちに「食」を通して伝えたい

栄養教諭の仕事の一つに献立作成があります。子どもたちの喜び顔を想像しながら、地場産物を使った新しいメニューを日々考えています。調理員さんにも協力してもらって作るコロッケなど、手作りの献立が自慢です。
しかし、施設の老朽化などが原因で現在の給食を提供し続けることには不安があります。市内施設には衛生管理基準に適合していな

いところもあるため、工夫して安全・安心な給食作り而努力していますが、限界も近いと感じています。私は学校給食運営検討委員として、学校給食の在り方の検討に参画してきました。今後は施設統合が予定されていますが、子どもたちに「食」を通して西条の良さを伝えるためにも、今まで培ってきた自校方式の良さを残してほしいと願っています。

1. 西条市の給食事情

市内には自校方式の施設が25カ所、センター方式の施設が2カ所あり全27施設で1日に約9,000食を作っています。

給食施設はこんな状況…

- 施設や設備の老朽化が進んでいます
→27施設中23施設が耐用年数の目安である30年を超過
- 衛生管理基準が厳しくなっています
→平成21年に改正された基準を満たす「ドライ方式」は2施設。残り25施設は「ドライ運用」で対応
- 作業環境が悪化しています
→空調設備がないため、調理員の作業環境が悪化

- 自校方式
…学校内の調理室で調理し、給食を提供
- センター方式
…複数の学校給食を、集約された施設で一括調理し、各学校へ配送・提供

現行の方式を続ける場合…

- 現在の施設面積の約2倍の土地が必要
 - 全施設の整備には20年以上必要
 - 整備の更新には約87億円必要
- 建て替えの敷地確保は難しく、たくさんのお金と時間がかかります。また児童や生徒も減少しているため、施設の効率は悪化していきます。



市内のほとんどである
自校方式の継続が困難に…

3. 安全で安心な給食提供を第一目標に、施設整備から

基本構想を踏まえた施設整備を具体化するため、「西条市学校給食施設整備基本計画」の検討を進めています。現在は学校や保護者の意見を聞くための説明会を順次行っていますが、その中でいただいた意見をもとに、今後検討を進めて、取りまとめた「基本計画（案）」について市民の皆さんからの意見募集（パブリックコメント）を行う予定です。

▶ 学校給食に関する問合せ 市庁舎新館 4階 教育総務課 Tel.0897-52-1609

2. そこで持続可能な給食のこれからを考える

平成30年度、西条市学校給食運営検討委員会を立ち上げ、大学教授や学校関係者などと一緒に学校給食の今後の在り方を検討。そこで出た意見を参考に「西条市学校給食基本構想」を策定しました。基本構想では、老朽化した自校方式の施設を順次統合。既存施設を利活用し、段階的に集約を進め、最終的には数カ所の共同調理場への統合を目指します。

基本構想の
詳細は▼

